

令和四年度事業報告

1、教化研究会議

【1】第五十五回中央教化研究会議

令和四年九月七日

Web会議サービスZoomにて開催

テーマ イノベーション～日蓮宗を未来から構想する～

参加者 一〇一名

開催趣旨（開催要綱原文のまま）

最近イノベーションという言葉をよく耳にします。イノベーションとは、新たな思想・技術を取り入れて、新たな視点や価値を創造することです。「よりよく変化し続ける」ことは日本仏教が危急存亡の秋にある今、日蓮宗教師一人一人にとって重要な課題であります。私たちは宗祖の末弟として、教義と信仰に基づいた伝統を保ちながら、日本社会の変化に対応をしていかねばなりません。

令和二年度の宗勢調査によれば、「檀家数が減少した」と回答した寺院は五十七・一％に及び、これは前回調査（平成二十四年）に比べて、二十％強増加しています。人口減少、また家族制度に対する意識の変化などから、檀家数減少が加速していくことは明らかです。また寺院の後継者の有無に対して「後継者がいる」寺院は過去の宗勢調査から漸減して今回は五十四・八％、「後継者がいない」と答えた寺院は過去三回の調査から徐々に増加し、四十三・三％となっています。さらに教師を年齢別に見ると、二十代、三十代の教師が全体に占める割合は約十七％に過ぎず、四十代、五十代、六十代、七十代の教師数と比べても少ない傾向にあります。宗門教師数の減少ということも今後大きな問題となるでありません。

そして数の減少という問題と合わせて考えなけ

ればならないのは、子弟教育です。親が住職であってもその子供が出家するとは限りません。御降誕八〇〇年宗門子弟育成PTが平成二十八年に行った「宗門子弟育成プロジェクト調査」によれば四十%弱の寺院子弟が家族として生まれ育ったことに好意的に回答していますが、その反面、僧侶・後継者となることを望む者は二十%強というギャップが生じています。これがすべての子弟の答えではないにせよ、「仏飯を食み育んでいただいた」という感謝の気持ちはありながらも、教師となつて寺院の後継者となる、という形には繋がりにくい一面を物語っています。つまり、寺檀それぞれの後継者の減少、消滅という未来は容易に予想されるのです。

しかし今「宗門再生」が田中恵紳宗務総長によって陳べられております。これは言葉を換えると日蓮宗のイノベーションということです。「現状のままです予測される未来」ではなく私たち一人一人の日蓮宗僧侶にとって「あるべき未来」を具体

的に予測し、私たちにとってのイノベーションには何が必要かを考えたいと思います。例えば、教育がどのようにあれば、法華経信仰に生きる宗祖の末弟として生きることができるとか。どのような教育を受ければ、信仰に感謝し、幸福な僧侶として生涯を終えることができるのか、この点について、あるべき未来絵図から現在を見直し、日蓮宗をイノベートする方策について検討したいと思います。

まずは特別講演として「株式会社みらい共創技術研究所」の樋口邦史氏より「イノベーション」についてのご講演、さらに赤堀正明現代宗教研究所長より「日蓮宗のイノベーション」と題して基調講演をいただきます。午後は四つの分科会に別れ、座長とそれぞれの問題提起者のもと会議を行います。

第I分科会「教化学のイノベーション」では、教化学と教化学の乖離、教化学のない教化、教化を想定しない教学、教学と現場の教化・布教を折り合

わせるためにはどのような試みが必要か、議論します。

第Ⅱ分科会「宗門教育制度のイノベーション」では、子弟教育についてはカリキュラムの連続性・統一性についてどうあるべきか、生涯教育では多様性にも配慮しつつ検討します。

第Ⅲ分科会「宗門ジェンダーのイノベーション」、社会における男女雇用機会均等と同様に、宗門における女性教師登用をどのように進めるか、検討します。

第Ⅳ分科会「宗門運動のイノベーション」、本年は「立正安国・お題目結縁運動」が終了し、次の宗門運動に向けての準備の年となります。この分科会ではこれまでの宗門運動の成果と問題点を提起し、今後のあるべき宗門運動について議論します。

開催方式

①特別講演「『イノベーションを興す』―未来を取り逃がすな―」

樋口邦史（株式会社みらい共創技術研究所代表取締役）

②基調講演「日蓮宗のイノベーション」

赤堀正明（日蓮宗現代宗教研究所長）

③テーマに関連した分科会を設置、それぞれ座長・問題提起者を設け会議を行う。

④全体会議で四分科会の報告を聞き、テーマ「イノベーション」日蓮宗を未来から構想する」にまとめた。当日の発表及び各分科会の内容は、『現代宗教研究』第五十七号に収載。

【2】教区教化研究会議

教区にて開催。新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、教区毎に検討された開催方式を了とした。日時・テーマは次の通り。

●第四十回九州教区教化研究会議

令和四年六月十四日

佐賀県 ホテルニューオータニ佐賀にて開催

テーマ「コロナ禍における教化のあり方」

基調講演①「アフターコロナ時代の寺院運営―問

われる僧侶の覚悟―」

鶴飼秀徳（ジャーナリスト・良いお

寺研究会代表理事）

基調講演②「僧俗一体で危機対応〜コロナ罹患で

わかったBCPの必要性〜」

小林信翠（本門佛立宗・福岡県光薫

寺住職）

質疑応答

●第四十五回中四国教区教化研究会議

令和四年六月二十日〜二十一日

鳥取県 米子コンベンションセンターBIGSHIP・

ANAクラウンプラザホテル米子にて開催

テーマ「仏教界における「ジェンダー平等」の

必要性と期待される効果を考える」

基調講演「日蓮宗におけるジェンダーギャップの

現状「ジェンダー平等」がもたらす新

しい教師の姿とは」

丹羽宣子（宗教社会学者）

四分散会

全体会議

●第五十二回近畿教区教化研究会議

令和四年六月二十四日

奈良県 ホテル日航奈良にて開催

テーマ「寺と法とお金〜信心と経営の中道と

は？〜」

基調講演「寺と法とお金〜信心と経営の中道と

は？〜」

勝 桂子（行政書士・ファイナンシヤ

ルプランナー・葬祭カウンセラー）

四分散会

全体会議

●第三十九回東北教区教化研究会議

令和四年十月七日

宮城県 清月記仙台新寺斎場にて開催

テーマ「寺院の後継者問題について」

基調講演「寺院の後継者問題について」

菅野龍清（東京都浄延院住職・元宗立

谷中学寮寮監）

三分散会

●第三十八回北陸教区教化研究会議

令和四年十月十八日

石川県 ANAクラウンプラザホテル金沢にて開催
テーマ「アフターコロナの布教法」新しい価値観にどう対応するか」

基調講演①「コロナ禍における宗教活動と今後のあり方について、環境認識を共有した上で、宗教家としての存在とは何かを一緒に考える」

塚寄智志（野村證券（株）金融公共
共益法人部、法人ソリユーション課）

基調講演②「変わる価値観と布教の手段と、日蓮宗僧侶の普遍的な目的」

久住謙昭（神奈川県妙法寺住職）

六分散会

全体会議

●第四十四回中部教区教化研究会議

令和四年十月二十五日

岐阜県 岐阜商工会議所にて開催

テーマ「多様化する現代の中で、仏教が直面する諸問題を考える」

基調講演「あなたならどうする？ハラスメント・マネー・監視問題等仏教が直面する諸問題を考える」

鵜飼秀徳（良いお寺研究会代表理事、
浄土宗正覚寺住職）

三分散会

全体会議

●第四十七回京浜教区教化研究会議

令和五年二月二十日

東京都東部 TKP東京駅カンファレンスセンターにて開催

テーマ「今こそ葬式仏教を極める」コロナ禍

を経て、今一度、我々ができることを考える」

基調講演①「死と向き合う宗教としての葬式仏教

―葬式仏教から仏教が復興する―」

薄井秀夫（株式会社寺院デザイン代表取締役）

基調講演②「葬式仏教正当論」

鈴木隆泰（東京都善應院住職）

分散会

全体会議

●第三十九回千葉教区教化研究会議

令和五年二月二十日

千葉県西部 サンライズ九十九里にて開催

テーマ「その時まで、どう備えるか〜いま改めて考える災害時の寺院の対応〜」

基調講演①「地域に生きる寺院の災害時対応と備え」

稲場圭信（大阪大学大学院教授）

え」

基調講演②「災害時にお寺・僧侶として求められたこと、そして災害への備え」

谷川海明（宮城県法音寺副住職・石巻復興支援会代表）

パネルディスカッション

●第四十六回山静教区教化研究会議

令和五年二月二十日

静岡県東部 Web会議サービスZoomにて開催

テーマ「お寺を未来につなぐ」

基調講演①「地獄のVR体験会を通じて、今後の布教について考える」

久住謙昭（神奈川県妙法寺住職）

基調講演②「SNSでつながるお題目の輪」

永田智瑛（愛知県本住寺副住職）

基調講演③「SNSを活用し、また来てもらえるお寺に」

海野高敬（東京都法輪寺住職）

●第二十九回北関東教区教化研究会議

令和五年三月十日 栃木県 ホテルニューイタヤにて開催

テーマ「仏教界危機の近代史〜先師から学ぶ教化〜」

基調講演「仏教界危機の近代史」

安中尚史（立正大学仏教学部長・千葉

189

県高圓寺住職)

全体会議 (質疑応答)

【3】 研究集会

● 福島県教化学研究集会

令和四年十一月九日

福島県 福島県法現寺にて開催

基調講演① 「LGBTQ 相手のありのままの性を理解する」

永瀬大紀 (にじっぺ茨城代表)

基調講演② 「宗門におけるジェンダー問題を考える」

中井本蓉 (栃木県正法寺修徒)

二分散会

【4】 連絡会議

● 教区教化研究会議連絡会議

令和四年五月十七日

Web会議サービスZoomにて開催

内 容 ① 教区教研運営の件 ② 助成金の件 ③ 中

央教研の件 ④ その他

● 教化センター連絡会議

令和四年五月十八日

Web会議サービスZoomにて開催

内 容 ① 各センター活動報告・活動計画の件

② 助成金の件 ③ 中央教化研究会議の件

④ その他

2、研究・調査活動

【1】 下記の各プロジェクトチームにおいて、それぞれ

研究・調査を進めた。

● 教研会議PT (村上慧香・中井本蓉・水谷進良各
研究員、加藤彰晃・石原顕正・河崎俊宏・柴田章

延各嘱託)

● 発表大会PT (古河良啓・中井本蓉・水谷進良・

森下恵王各研究員、岡田文弘特別研究員、横山正
見嘱託)

● 年次年表作成会議 (小高絢華研究員、坂輪宣政嘱

託、望月康寿・山口功倫・鈴木宏彰)

● 現代教化シリーズ作成PT (古河良啓・内藤善

之・中村宣悠各研究員、鈴木隆泰特別研究員、蓑輪顕量顧問)

● グリーフケアPT

(菊岡妙光・吉木祥介・齋藤宣裕・本間文裕各研究員、星光照)

● 女性教師アンケートPT

(森下恵王研究員、成田東吾囑託、三井妙真・丹羽宣子)

● ITプロジェクト

(中村龍央・成田東吾各囑託)

● 寺院環境調査PT

(小高絢華・藤崎善隆・松井大宗・高野光拡・齋藤宣裕各研究員、中條曉仁特別研究員)

● 法華経版経PT

(古河良啓・藤崎善隆・内藤善之・庵谷行遠・水谷進良各研究員、坂輪宣政・灘上智生各囑託、市川智啓、岩田親静)

● 研究例会

(小高絢華・古河良啓・村上慧香・中井本蓉・藤崎

善隆・内藤善之・松井大宗・庵谷行遠・水谷進良・菊岡妙光・吉木祥介・高野光拡・森下恵王・齋藤宣裕・中村宣悠・本間文裕各研究員、鈴木隆泰・中條曉仁・櫻井義秀・間宮啓壬・岡田文弘・伊藤瑞康各特別研究員)

● 囑託例会

(及川一晋・坂輪宣政・灘上智生・横山正見・中島信吾・加藤彰晃・山内寛久・石原顕正・河崎俊宏・中村龍央・福島正堯・柴田章延・都泰雄・成田東吾・原一彰各囑託)

● 顧問会

(古河良皓・蓑輪顕量・北山孝治・三原正資各顧問)

【2】第二十三回日蓮宗化学研究発表大会

令和四年十一月二十五日

Web会議サービスZoomにて開催

研究発表

「今、『上人首相』石橋湛山の生き方を考える」

三原正資(広島県妙長寺住職・現宗研顧問)

「令和三年度 女性教師アンケート調査中間報告」

森下恵王（宮崎県立正寺修徒・現宗研研究員）

「木剣起源の一試論―七面大明神との関係について」
玉木晃仁（山形県日朝寺住職）

「靈感と感応道交について敏感になろう」

森下龍浄（長崎県日誠寺住職）

「鬼子母神の語られなかった物語」

中井本蓉（栃木県正法寺修徒・現宗研研究員）

「創価学会における教義条項の改正について」

水谷進良（大阪府新福寺修徒・現宗研研究員）

パネルディスカッション

「破壊的カルト教団をめぐって」

「パネリスト」

楠山泰道（神奈川県大明寺住職・脱カルト協会顧問）

服部功志（神奈川県常立寺修徒・弁護士）

櫻井義秀（北海道大学大学院教授・脱カルト協会

顧問）

水谷進良（大阪府新福寺修徒・現宗研研究員）

赤堀正明（千葉県常不軽寺住職・現宗研所長）

「コーディネーター」

菅野龍清（東京都浄延院住職・現宗研主任）

当日の発表及びパネルディスカッションの内容は、
『教化学研究』第十四号に収載。

【3】研究例会

●研究員が各自のテーマに沿って研究・調査を行い、
研究発表を行った。発表テーマと発表者は次の通り。

○「理想の教師像」と「非認知能力」の関連につ
いての一考察」 高野光拡

○「令和三年度女性教師アンケート中間報告」

森下恵王

○「私にとって〈私たちのパーパス〉とは何か」

中井本蓉

○『法華経』の読みについての一考察」 庵谷行遠

○「日蓮宗法衣について」 藤崎善隆

○「小樽問答の再確認」 水谷進良

○「日蓮宗寺院におけるSNS利用状況の調査」

松井大宗

○「日系コミュニティを支えてきた「帰米二世」たち」
村上慧香

○「中央アジアの遺跡とロシアの関係」
内藤善之

○「戦国期における宗教一揆の研究」
齋藤宣裕

○「宗学論の一考察―さらに「宗学」の語を巡る―」
古河良啓

○「臨床宗教師構想 発足の背景」
吉木祥介

○「日蓮聖人教学における一念三千の事・理―教学と教化をめぐる一試論―」
中村宣悠

○「信行道場の教育について」
本間文裕

○「古代インドから見た妙法蓮華経随喜功德品第十 八の考察」
菊岡妙光

○「参詣を軸とする寺院興隆の可能性―宗教ツアー
ゾムの視点から―」
小高純華

【4】嘱託例会

●嘱託が各自のテーマに沿って研究・調査を行い、研究発表を行った。発表テーマと発表者は次の通り。

○「丸山照雄の行動と思想（後編）」
柴田章延

○「教学への沈潜は教化へ向かいうるのか―教学と

教育学の一体化を目指して」
山内寛久

【5】現地調査

●八月三日、日蓮宗宗務院に於いて、浄土宗総合研究所ヒアリング調査を行った。

●九月二十七日、日蓮宗宗務院に於いて、佛立研究所交流勉強会を行った。

●十一月八日、東京都佛光山寺に於いて、聞き取り調査を行った。

●十一月十七日、埼玉県終末期専用賃貸住宅はなみずきの家に於いて、在宅型ホスピス調査を行った。

●十一月二十八日、埼玉県終末期専用賃貸住宅はなみずきの家に於いて、在宅型ホスピス調査を行った。

●十一月二十九～三十日、神奈川県鎌倉市に於いて、佛立研究所合同調査を行った。

●令和五年二月二十一～二十二日、山梨県身延町に於いて、佛立研究所合同調査を行った。

3、出版・資料収集

- 【1】『現代宗教研究』第五十七号を編集し、発行した。出席。
- 【2】教団史研究資料の一つとして、各種資料より『令和三年日蓮宗年表』を作成し、配布した。
- 【3】『現代宗教研究』別冊として、『教化学研究』第十号を編集し、発行した。
- 【4】現代教化シリーズ三『GRANTHA』を編集し、発行した。
- 【5】『令和三年度 女性教師アンケート調査報告書』を編集し、発行予定。
- 【6】新宗教関係資料を収集し、保管した。
- 【7】各種伝道教化に関する資料を収集し、保管した。
- 【8】伝道・教化・研究に必要な図書を購入した。
- 【9】今年度購入・寄贈図書のコンピュータ管理のための蔵書整理とデータ作成を行った。

4、研究交流・会議

- 四月十三日、北山本門寺にて「ご霊宝お風入れ」に出席。

- 五月十五日、東北大学にて「臨床宗教師指導者養成プログラム」に出席。

- 六月十二日、東北大学にて「臨床宗教師指導者養成プログラム」に出席。

- 六月十四日、パシフィコ横浜にて「フューネラルビジネスフェア二〇二二」に出席。

- 六月二十日、日本橋T Sビルにて「ペットの旅立ち説明会」に出席。

- 六月二十八日、YouTubeライブ配信にてオンラインシンポジウム「仏教×SDGs×ジェンダー」に出席。

- 七月二日、武蔵野大学武蔵野キャンパスにて連続公開講座「仏教における女性 女性と修行」に出席。

- 七月十七日、東北大学にて「臨床宗教師指導者養成プログラム」に出席。

- 八月四日、仏教伝道センターにて「葬式仏教価値向上委員会第三十回研究会」に出席。

- 八月二十二日、東北大学にて「臨床宗教師養成講座」に出席。

- 八月三十一日、東京ビッグサイトにて「第八回エンディング産業展」に出席。
- 九月三～四日、Web会議サービスZoomにて「日本印度学仏教学会第七十三回学術大会」に出席。
- 九月十日、Web会議サービスZoomにて「第二十九回BDKシンポジウム 人は人を救えるのか」に出席。
- 九月十一日、Web会議サービスZoomにて「日本宗教学会第八十一回学術大会」に出席。
- 九月十五日、日蓮宗宗務院及びWeb会議サービスZoomにて立正平和の会講演会「ひとりの日蓮宗僧侶が見たウクライナ」に出席。
- 九月二十三日、東北大学にて「臨床宗教師指導者養成プログラム」に出席。
- 九月二十八日、Web会議サービスZoomにて「日本「祈りと救いとこころ」学会第七回学術研究大会プレ講演会」に出席。
- 九月二十九日、Web会議サービスZoomにて「関東臨床宗教師会F.U研修」に出席。
- 十月一日、Web会議サービスZoomにて「龍谷大学連続ワークショップ 性なる仏教」に出席。
- 十月十三日、立正大学品川キャンパスにて「令和四年度立正大学仏教学部 仏教文化講座 未来へつなぐ法華経の世界」に出席。
- 十月十三日、立正大学石橋湛山記念講堂にて「立正大学学園開校一五〇周年記念シンポジウム 石橋湛山と建学の精神」に出席。
- 十月十七日、港区増上寺にて「教団付置研究所懇話会第二十回年次大会」に出席。
- 十一月十二日、Web会議サービスZoomにて「龍谷大学連続ワークショップ 性なる仏教」に出席。
- 十一月十八日、Web会議サービスZoomにて全日本仏教会「第三十五期第二回 社会・人権審議会」に出席。
- 十一月二十日、東北大学にて「臨床宗教師指導者養成プログラム」に出席。
- 十二月三日、武蔵野大学武蔵野キャンパスにて連続公開講座「律蔵における女性」に出席。

- 十二月十日、Web会議サービズZoomにて「龍谷大学連続ワークショップ 性なる仏教」に出席。
- 十二月十一日、東北大学にて「臨床宗教師指導者養成プログラム」に出席。
- 十二月二十日、Web会議サービズZoomにて「立正大学日蓮教学研究所第六十二回仏教講座」に出席。
- 十二月二十日、Web会議サービズZoomにて「全日本仏教会 加盟団体説明会（法人等による寄附の不当な勧誘の防止等に関する法律について）」に出席。
- 令和五年一月十七日、大本東京本部・東京宣教センターにて「教団付置研究所懇話会 宗教間対話部会」に出席。
- 令和五年一月二十日、港区増上寺にて「法人等による寄附の不当な勧誘の防止等に関する法律についての説明会」に参加
- 令和五年二月十三日、港区増上寺にて「第四十五回浄土宗総合研究所公開シンポジウム 岐路に立つ、これからの「お葬式」」に出席。
- 令和五年二月十五日、港区増上寺にて「顧問弁護士

連絡会」に出席。

- 令和五年二月十八日、Web会議サービズZoomにて、「国際宗教学研究所公開シンポジウム 苦難に立ち向かい、弱者に寄り添う宗教者」に出席。

- 令和五年二月二十七日、大本東京本部・東京宣教センターにて「教団付置研究懇話会 宗教間対話部会」に出席。

- 令和五年二月二十八日、新宿区常圓寺にて「東京都西部教師研修会」に出席。

- 令和五年三月十六日、池上朗峰会館にて「京浜教区教師研修会「現今の宗教問題、危機管理を考える」」に出席。

- 臨床仏教師、認定臨床宗教師の資格取得に対する助成を行った。

5、講演

【1】第五十九回布教研修所

令和四年六月十日 松戸市本土寺にて開催

赤堀正明（日蓮宗現代宗教研習所所長）

【2】第五十九回布教研修所

令和四年六月十七日 松戸市本土寺にて開催

赤堀正明（日蓮宗現代宗教研究所所長）

【3】第五十九回布教研修所

令和四年六月三十日 松戸市本土寺にて開催

菅野龍清（日蓮宗現代宗教研究所主任）

【4】第四十三回千葉県北部布教講習会

令和四年七月六日 柏市妙照寺にて開催

テーマ「死んだらどうなる〜日蓮聖人の御遺文から読み解く〜」赤堀正明（日蓮宗現代宗教研究所所長）

【5】岡山県夏期講習会

令和四年七月七日 岡山市妙林寺にて開催

基調講演「新宗教の時代は終わった」

赤堀正明（日蓮宗現代宗教研究所所長）

【6】第三期信行道場

令和四年八月三十日 信行道場にて開催

テーマ「我々はどこから来たのか我々は何者か我々はどこへ行くのか―死後の世界―」

赤堀正明（日蓮宗現代宗教研究所所長）

【7】第三十九回東北教区教化研究会議

令和四年十月七日 宮城県 清月記仙台新寺齋場にて開催

開催

テーマ「寺院の後継者問題について」

基調講演「寺院の後継者問題について」

菅野龍清（日蓮宗現代宗教研究所主任）

【8】教団付置研究所懇話会第二十年次大会

令和四年十月十七日 港区増上寺にて開催

シンポジウム「これからの社会と宗教―SDGsの潮流の中で―」

テーマ「日蓮宗におけるSDGsの取り組みについて」

菅野龍清（日蓮宗現代宗教研究所主任）

菅野龍清（日蓮宗現代宗教研究所主任）

【9】熊本管区教師研修会

令和四年十二月五日 ザ・ニューホテル熊本にて開催

テーマ「旧統一教会とは」

赤堀正明（日蓮宗現代宗教研究所所長）